



7/17 避難訓練 (不審者対応)

避難訓練の最後に、水戸警察署生活安全課生活安全係長卯野様、スクールサポーターの會澤様のお二人から講話をしていただきました。



1の1 安井さん：今日避難訓練を行って、不審者が学校内に入ってきたときどうすればいいかを学びました。私は窓側の席なので、不審者が入って来ないように窓を閉めました。今日の避難訓練を生かして、実際に不審者が入ってきても焦らず自分の役割を果たしたいです。

1の2 瀬端さん：私が避難訓練で学んだことは、不審者につかまれたときに大声を出すなどして自分の命を守るということです。そして、警察の方々から教えてもらったことや小学校でも教えてもらったことを頭に入れ実際起きたときに生かし

自分を守るようにしていきたいです。

1の3 茂垣さん：不審者がいつ入ってきてもいいようにと思いながら避難訓練をやり、皆素早く窓側に行けたと思います。警察の方の話の中で、ネットに自分の悪口を書かれて死んでしまった人がいるということを知り、自分は絶対に書かないようにしようと思いました。それと、ネットに悪口を書く人が減ってくれたらいいなと思いました。もし、不審者に会ってもあきらめない心をもつことが大切なんだと分かりました。

1の4 古徳さん：中学校最初の避難訓練をして、小学校の頃に学んだ不審者への対応の仕方など様々なことが思い出されました。「おかしも」や「ひまわり」、「イエロータイム」など、あまり気に留めていなかった大切な用語を聞かされて、改めて気を付けなければならぬと思いました。中学生になったという自覚をもって生活していきたいです。



2の1 平山さん：この避難訓練で「ひまわり」という言葉を改めて認識できました。これから被害にあわないために、「ひまわり」に当てはまる場所に行かないようにします。今日は貴重なお話を聞くことができました。

2の2 渡辺さん：不審者が来た時の対応が分かりました。近くにも犯罪はあることを知ったので、これからはもっと注意しようと思いました。

2の3 益子さん：避難訓練を通して、不審者の怖さや待機の仕方などを再確認することができました。これからの訓練もしっかりと緊張感をもちながら行っていきたいと思いました。

2の4 高阿田さん：いつ、どんなときに不審者が来るか分からないので気を付けたい。もし、あってしまったら、警察の人が言っていたように最後まで諦めずに必死で抵抗したい。

3の1 渡辺さん：私は今回の避難訓練でSNSの危険性を知ることができました。コロナ対応ということもあり、放送でのお話となりましたが、SNSが原因で亡くなる可能性があることを理解し活用したいです。

3の2 岡崎さん：私は不審者が2～3日に1回発生していることにとっても驚きました。SNSでは悪口を書かない・個人情報を書かない・出会い系で知り合った人に会わないようにしたいです。「ひまわり」「いかのおすし」も意識したいです。

3の3 関谷さん：僕は、岩手県の陸前高田市に行ったので、避難訓練をやる意味を考えながら真剣に行うことができた。コロナの中でも、避難訓練を行えてよかった。

3の4 瀬川さん：実際に避難はしなかったけれど、放送での話を聞いて、不審者が出たときの対処の仕方と避難訓練の大切さを知ることができました。

